

① 基本的視点

- インターネットの在り方(インターネットの特長、インターネットエコシステムの維持、利用者の権利(公平な利用等)の保証、競争の確保、目指すべき均衡点等)
- 「ネットワーク中立性」が確保されるための要素・基本的な考え方(環境の変化を踏まえた従前の「三原則」の有効性検証など)
- 本研究会における検討スコープ(CDN等の多様な取り組み等を踏まえつつ、the Internetへのアクセスサービスを中心に議論)

② 具体的検討項目

①プラットフォームレイヤー・コンテンツレイヤーを含むレイヤー内・レイヤー間の健全な競争環境の確保、②イノベーションや持続的なネットワーク投資の促進、③十分な情報に基づく消費者の選択の確保を図るため、ネットワークの利用及びコスト負担の公平性の観点から、以下の項目について検討。

- トラヒックの優先制御(対象サービス、技術的条件、運用の検証)、適切なネットワーク管理(平時及び非常時のトラヒックの混雑への対応)についての整理(通信の秘密との関係性の整理を含む)
- ゼロ・レーティングやスポンサードデータ等に関するルール(利用者・社会にとっての価値・便益、利用者の権利や競争に与える影響、消費者・事業者に対する情報提供・説明責任の在り方)
- 技術革新及び通信技術を活用した新たなサービスの登場を見据えた、ネットワークへの持続的な投資を可能とする仕組みの形成、各ステークホルダー間の費用分担の在り方(必要性)

③ 「ネットワーク中立性」を確保・維持するための仕組み

- 「ネットワーク中立性」確保のためのルールの在り方(法的規制、自主規制、共同規制、市場原理(競争)を通じた確保、関係者の関与の在り方など)
- 事業者による消費者や他の事業者に対する情報公開の在り方
- 「中立性」の確保状況の検証に必要となるデータと、その収集・分析・検証体制